

Y24a 「一家に1台 天体望遠鏡」計画 - 「君もガリレオ！」プロジェクト・エピソード2 -

縣 秀彦 (国立天文台)、高田裕行 (国立天文台)、加島信次 (ビクセン)、都築泰久 (ビクセン)

国立天文台では、2008年度より「君もガリレオ！」プロジェクト(*)を実施し、国内外の子どもたちに小型天体望遠鏡による天体観察の機会を提供してきた。現在、比較的安価に購入可能な天体望遠鏡キットは複数ある。しかし、小中学校の理科カリキュラムに沿う内容での利用を前提に、学校でまとめて、あるいは児童・生徒が個々に購入して利用する場合、性能や価格面等で十分とは言えない。そこで、「一家に1台 天体望遠鏡」をめざし、安価な小型天体望遠鏡を開発し、低価格での頒布を実現したい。

関心・意欲が高い理科分野の一つである天文・宇宙に関する学習は、天体観察という実習を伴うため、通常の授業時間内でのその実習が不可能であり、長年に渡って学習指導要領上の目的を達成できないまま今日に至っている。近年特に、児童・生徒の安全管理や教職員の労働環境等の理由で、学校にて夜間、全員が天体観察を行うことはほぼ不可能となっている。このため、家庭で各自が観察実習可能なよう、学習効果が高く、安全かつ安価な教材・教具の開発・提供が必要不可欠な課題となっている。

本共同開発計画においては、この課題解決を目的に、国内全家庭にて学習用具として購入可能なレベルの安価な小型天体望遠鏡キットを開発する。習字用具、リコーダー、絵の具用具、男子の柔道着などと同様に、天体望遠鏡もほぼすべての児童・生徒が購入する必需品となることにより、国内すべての子どもたちが、天体望遠鏡による天体観察をおこなえる環境を整えることを目標とする。本講演では、本プロジェクトの目的・目標と事業計画案および最新の開発状況について紹介する。*「君もガリレオ！」プロジェクト <http://kimigali.jp/>